

6 月 25 日 年間第 12 主日 (日本の典礼では朗読箇所が異なる)

正しく優先されるべきもの

ルカによる福音書 6 章 17、20～26 節

¹⁷ イエスは彼らと一緒に山から下りて、平らな所にお立ちになった。大勢の弟子とおびただしい民衆が、ユダヤ全土とエルサレムから、また、ティルスやシドンの海岸地方から… ²⁰ さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。「貧しい人々は、幸いである、神の国はあなたがたのものである。²¹ 今飢えている人々は、幸いである、あなたがたは満たされる。今泣いている人々は、幸いである、あなたがたは笑うようになる。²² 人々に憎まれるとき、また、人の子のために追い出され、ののしられ、汚名を着せられるとき、あなたがたは幸いである。²³ その日には、喜び踊りなさい。天には大きな報いがある。この人々の先祖も、預言者 * よげんしゃ * たちに同じことをしたのである。²⁴ しかし、富んでいるあなたがたは、不幸である、あなたがたはもう慰めを受けている。²⁵ 今満腹している人々、あなたがたは、不幸である、あなたがたは飢えるようになる。今笑っている人々は、不幸である、あなたがたは悲しみ泣くようになる。²⁶ すべての人にほめられるとき、あなたがたは不幸である。この人々の先祖も、偽預言者たちに同じことをしたのである。」

他の朗読：エレミヤ 17:5～8 詩編 1:1～4, 6 I コリント 15:12, 16～20

1 LECTIO…読む

マタイとルカの福音書両方が、イエスの倫理的教えの説明について記録しています。両者の報告にはかなりの点で違いがあります。マタイはイエスの教えを 9 つの「真の幸い」、つまり至福の教え(マタイ 5 章 3～12 節)として与えています。ルカは要点をはっきりさせるため、対比の技術を使っており、またイエスが祝福されるであろうと述べた異なった状況を 9 つから 4 つに減らしています。ルカは、この少ない文章の中で、多様な物語のスタイルを用いています。まずはじめに、イエスがどこで教えているのかを私たちがわかるように、場面の状況を説明しています。平らな場所で、おびただしい民衆がイエスの周りにいます。多くの人々に、癒しが与えられました。それからイエスの教えの言葉が、直接語られるのです。ここからがイエスの教えの真髄です。イエスは貧困、飢え、泣くことそして人の子のために拒絶される、という 4 つの状況は祝福の源になる、と教えます。イエスは人生に対し全く新しい視野を与え、これらの状況にある人々に希望と慰めを与えています。私たちの本能はこれらのことを努めて避けようとしませんが、それはまったく逆であると警告しているのです。イエスは富、大食、充足、そして「よい」評判は、私たちを荒廃させる可能性があることを警告しています。真実がはっきりと書かれているため、かえって私たちには見えないのかもしれませんが。これらの 4 つの困難は、私たちが完全に神だけを見つめるようになるために、すべてにおいて神に信頼するところへ私たちを導いてくれているのかもしれませんが。しかし満たされているときは、神を喜ばせることよりも、私たち自身や自分たちの持っているものが幸せの源であるかのように思ってしまうがちです。イエスはこのことをわかっている、神ご自身が私たちの唯一の幸せと安心の保証であることを、私たちにわかって欲しいのです。

2 Meditatio…黙想する

この箇所におけるイエスの教えを、あなたはどのように思いますか。何に一番心を打たれましたか。マタイ 6 章 33 節の「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」について考えてみましょう。私たちはどうすれば、どのような状況においても、いつも神に仕えること、そして神の言われることを行

うことを最優先にすることができるようになるのでしょうか。エレミヤ 17 章と詩編 1 編における、流れのほとりに植えられた木のイメージを考えてみましょう。あなたはどのように、あなたの根を深く神に植えていますか。

3 Oratio…祈る

今日の答唱詩編の「いかに幸いなことか、主に信頼をおく人」(詩編 40 編 5 節) という言葉を祈ってみてください。あなたの人生のいくつかの場面において、神をもっと信頼する必要があった、もしくはあなたの優先事項を変えなければいけなかったところについて、やさしく明らかにしてくれるように聖霊に願いましょう。あなた自身の信頼を築き上げるために、祈りのノートを書き続けてみましょう。あなたの毎日の祈りを書き留めてみましょう。そして毎週、祈りが応えられているようであれば、その祈りの側にコメントを加えてみましょう。これは真に信仰と信頼を築き上げてくれるものです。

4 Contemplatio…観想する

イエスを模範として考えてみましょう。彼はひたむきに御父に耳を傾け、御父の計画に従いました。聖書の中で、神がご自分の民への忠実さを明らかにした方法について考えてみましょう。そして、あなた個人に対して神がご自身の忠実さを明らかにした時についても考えてみましょう。